

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【公開番号】特開2017-85682(P2017-85682A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-208425(P2015-208425)

【国際特許分類】

H 02 J 50/00 (2016.01)

H 04 B 5/02 (2006.01)

【F I】

H 02 J 17/00 B

H 02 J 17/00 X

H 04 B 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月19日(2018.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一のアンテナと、

第二のアンテナと、

前記第一のアンテナを介して送電装置から無線で電力を取得する受電処理と、前記第二のアンテナを介して前記送電装置と無線で通信する通信処理とを排他的かつ交互に実行するよう制御する制御手段とを有し、

前記通信処理を実行する間、前記制御手段は、前記第一のアンテナの共振周波数を、前記通信処理を実行する際の前記第二のアンテナのキャリア周波数帯よりも低い周波数に設定するよう制御することを特徴とする受電装置。

【請求項2】

前記通信処理を実行する間、前記制御手段は、前記第二のアンテナの共振周波数を、前記通信処理を実行するためのキャリア周波数となるように設定した後に、前記第一のアンテナの共振周波数を、前記通信処理を実行する際の前記第二のアンテナのキャリア周波数帯よりも低い周波数に設定するよう制御することを特徴とする請求項1に記載の受電装置。

【請求項3】

前記受電処理を実行する間、前記制御手段は、前記第二のアンテナの共振周波数を、前記受電処理を実行する際の前記第一のアンテナのキャリア周波数帯よりも低い周波数に設定するよう制御することを特徴とする請求項1に記載の受電装置。

【請求項4】

前記受電処理を実行する間、前記制御手段は、前記第一のアンテナの共振周波数を、前記受電処理を実行するためのキャリア周波数となるように設定した後に、前記第二のアンテナの共振周波数を、前記受電処理を実行する際の前記第一のアンテナのキャリア周波数帯よりも低い周波数に設定するよう制御することを特徴とする請求項1に記載の受電装置。

【請求項5】

前記受電処理と前記通信処理の間に、所定の期間を有し、  
前記所定の期間では、通信も受電も行われないことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の受電装置。

【請求項6】

前記所定の期間の時間は、前記通信処理で前記送電装置と通信されるデータに基づき決定されることを特徴とする請求項5に記載の受電装置。

【請求項7】

前記受電処理と前記通信処理の間に、所定の期間を有し、  
前記所定の期間では、前記制御手段は、前記第一のアンテナの共振周波数および前記第二のアンテナの共振周波数を、前記受電処理を実行する際の前記第一のアンテナのキャリア周波数帯および前記通信処理を実行する際の前記第二のアンテナのキャリア周波数帯のいずれの周波数帯よりも低い周波数に設定するよう制御することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の受電装置。

【請求項8】

前記通信処理では、前記受電処理で受電する電力に関する情報を受信することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の受電装置。

【請求項9】

第一のアンテナと第二のアンテナとを有する受電装置の制御方法であって、  
前記第一のアンテナを介して送電装置から無線で電力を取得する受電処理と、前記第二のアンテナを介して前記送電装置と無線で通信する通信処理とを排他的かつ交互に実行する制御ステップを有し、  
前記通信処理を実行する間、前記第一のアンテナの共振周波数は、前記通信処理を実行する際の前記第二のアンテナのキャリア周波数帯よりも低い周波数に設定されることを特徴とする受電装置の制御方法。

【請求項10】

コンピュータを、請求項1乃至8のいずれか1項に記載の受電装置の各手段として機能させるための、コンピュータが読み取り可能なプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明に係る受電装置は、第一のアンテナと、第二のアンテナと、前記第一のアンテナを介して送電装置から無線で電力を取得する受電処理と、前記第二のアンテナを介して前記送電装置と無線で通信する通信処理とを排他的かつ交互に実行するよう制御する制御手段とを有し、前記通信処理を実行する間、前記制御手段は、前記第一のアンテナの共振周波数を、前記通信処理を実行する際の前記第二のアンテナのキャリア周波数帯よりも低い周波数に設定するよう制御することを特徴とする。